

【月案】6月・5歳児

今月の保育のポイント

- 梅雨時期の自然の不思議や今までの経験から、子どもの気づきを拾い「今日は雨ふりそうだね」など共有しながら興味関心を寄せていき、保育を子ども達と進めていく。
- クラスでルールのある遊びに挑戦し、色んな友達と関わって遊ぶ楽しさや友達の個性に気づく。
- 手の込んだ用意のおままごとや、作りかけの大作を、続きができるように残しておき、すぐに続きが遊べるようにまとめてカゴに入れるなどする。
- 梅雨時期の生き物や自然を自分で追及できるように、保育室の棚に図鑑や本を選び出して並べておく。
- 保育者と子どもで困ったことやトラブルを話し合い、どうすればいいかをクラス全体で考えていき、子どもが雨の日の滑りやすい廊下、他の友達の気持ちを知れる機会を作っていく。

月のねらい

- 友達との関わりを深め、自分の思いを伝えたり、相手の話を聞こうとする。
- 梅雨の自然を知り、天気の変化や雲の動きなどに興味を持つ。
- 当番活動の流れを覚え、友達と協力しながら行おうとする。
- ルールを守りながら友達と楽しさを味わう。
- 虫歯予防デーを通して、歯を大切にしようとする気持ちを持つ。
- 快適な環境の中で健康に過ごせるようにする。
- 楽しいことや嫌だったこと等を受け止め、安心して過ごせるようにする。
- 梅雨期の過ごし方を考え、安全に健康に過ごそうとする。
- 行事に興味を持ち、気付きや疑問を言葉にしたり、製作することを楽しむ。
- 梅雨期でも戸外や室内で体を動かすことを楽しむ。

週のねらい

その1

- 1週目：虫歯予防デーを知り、歯の大切さに関心を持つ（養護）
- 2週目：ルールのある遊びを友達と一緒に楽しむ（教育）
- 3週目：梅雨の自然に興味を持ち、自然の不思議さを感じたり雲の動きを観察したりする（教育）
- 4週目：衣類や用品、玩具などの身の回りのものを大切に扱う（教育）

その2

- 1週目：園生活のルールについて知り、お互いに教え合って守ろうとする（教育）
- 2週目：当番活動に意欲を持って、友だちと声をかけ合いながら積極的にやろうとする（養護）
- 3週目：友だちとイメージを共有して遊び、遊びに必要なものを作ることを楽しむ（教育）
- 4週目：暑さや湿度に合わせて衣類の調整をしたり汗を拭いたりする（養護）

その3

- 1週目：時の記念日を知り、生活の中で時間を意識する（教育）
- 2週目：友達と遊ぶ中で、互いに思いを伝え合いながら関係を深める（教育）

- 3週目：体を清潔にしようとし、清潔になる心地よさを感じる（養護）
- 4週目：体を動かして遊ぶ開放感や喜びを感じながら遊ぶ（教育）

その4

- 1週目：一人ひとりの思いを受け止め、情緒の安定を図る（養護）
- 2週目：保護者に手紙を書いたり製作したりしながら想いを伝える（教育）
- 3週目：傘やレインコート、長靴等の特徴や使い方を考えたり、梅雨期の安全について考える（養護）
- 4週目：素材や道具を使って自由に表現することを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 連休明けでも元気に登園し、安定して過ごす子どもが多くいる。
- 手洗いうがいなども自発的に行う子がおり、手洗いうがいを忘れていた子は友達の姿を見て気づき、自ら行う姿が見られる。
- 暖かい日には長袖を着脱し、自分で衣類の調節ができる子どももいれば、汗をかいても気づかずに遊びに夢中の子どももいる。
- 年下の友達との関わりを喜び、困っていると手伝いに行ったり一緒に遊びに誘ったりすることもある。
- 春の自然に興味を持ち、生き物を触ったり花の匂いを嗅いだりする姿が見られる。
- 夏野菜を育て始め、野菜に興味を持ったことから、嫌いなものも食べてみようとする姿が見られるようになった子どもがいる。
- 登園すると気が合う友達や好きな遊びを見つけて遊び始める。
- 「今日のお当番誰？」「明日は誰だろう」と当番活動に意欲的な姿が見られる。
- カレンダーを見て、「今日は○日だね」「○○の日だよ」と日付や予定を確認する。
- 母の日の製作では「大好きって書きたい」「いつも○○してくれるよ」と気持ちを込めて製作していた。
- 園でのルールが分かり、守っていない友達に対して強い口調で伝えることがある。
- 友達の思いを聞き、自分とは違う思いだと、「○○だから～しようよ」と相手を説得する姿や、強い口調になってしまう姿が見られる。

教育（遊び）

- 遊びや活動を通して新しい友達との関わりが増え、様々な友達と遊ぶ姿が見られるようになってきている。一方で、なかなか心を開けず、時には一人遊びを好む子どももいる。
- ピアニカや太鼓などの楽器には非常に興味を持ち、自由遊びの際には自ら触って音を楽しむ子どもがいる。
- 思ったことを素直に表現できる子どももいれば、恥ずかしくて人前ではなかなか喋れなくなってしまっている子どももいる。
- 絵の具やハサミなどの使い方にも少しずつ慣れ、丁寧に扱おうとする姿もあるが、使い慣れてきてつい雑に扱ってしまう姿も見られる。
- 自分たちで植えた夏野菜の様子を気かけ、友達同士で声を掛け合いながら当番の子どもが必ず水やりを行っている。
- 鉄棒や縄跳びに挑戦したり、サッカーや鬼ごっこ等で体を動かすことを楽しんでいた。

- 生き物を飼育し始めると、生き物が好きな食べ物やお世話の仕方を調べ、得た情報を保育者に知らせて実践しようとしていた。
- ルールを教えたり、考えたりしながら遊んでいる。
- 好きな歌や踊りを友達と一緒に楽しむ姿が見られる。
- 遊び続けたい気持ちから片付けを嫌がったり、「またやりたいから残しておく」と言葉にする。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**暑い日には衣類の調節だけでなく、水分補給も自ら行おうとする。（健康）
環：蒸し暑い日も次第に増えてくる時期。衣類の調節による体調管理だけでなく、水分補給など夏に向けても大切なことを子どもに伝えるようにする。
- **活：**自分の身の回りのものや園のものを大切に扱う。（環境）
環：生活の流れに慣れ、身の回りのものをつい雑に扱ってしまうこともある。ものを丁寧に扱う気持ちが育つように、繰り返し扱い方を伝えていく。
- **活：**食事と歯の健康のつながりを知る。（健康・環境）
環：噛むことで唾液が出て、歯や歯茎が健康になるしくみなどを劇やペープサート等で知らせ、歯磨き以外の側面も伝えていく。
- **活：**時計を見て時間で動く経験を積む。（環境）
環：長身と短針、どうなったら次なのかが分かりやすいように、時計の模型を置き、指定の時間に合わせておく。時間を全く気にしない子には、事前に声をかける等先手を打っておき、見通しを立てられた成功体験ができるようにする。
- **活：**他者の意見を受け入れつつ、自分の意見を主張する。（人間関係・言葉）
環：「～くんは～で、××ちゃんは～と考えているんだね」と、複数の意見が分かりやすいように、取りまとめ、子どもが自らどうすれば良いか考えられる環境をつくる。
- **活：**虫歯予防デーを通して歯の健康に関心を持ち、歯を大切にすることを学ぶ。（環境）
環：虫歯予防デーには正しい歯の磨き方を伝え、改めて歯の磨き方が確認できるようにする。
- **活：**健康や安全に配慮し、梅雨期を快適に過ごせるようにする。（健康）
環：室温や湿度に気を付け、除湿や室温調節を行ったり、水分補給やシャワー等を行いながら心地よく過ごせるようにする。
- **活：**言葉が相手にどう伝わるか考える。（人間関係・言葉）
環：「大好きな人が○○って言われてたらどうかな」「嫌な気持ちにならないためにはどんな言い方がいいだろうね」とクラス全体や個別に働きかけながら、言葉の使い方を意識できるようにする。
- **活：**園生活に期待を持ち、楽しく園生活を送る。（健康）
環：1か月分の予定、1週間の活動内容を予め掲示したり伝えておくことで、園生活に期待する気持ちに繋げる。
- **活：**父の日に向けて、言葉や文字、製作等で気持ちを表現する。（言葉・環境・表現）
環：家族の愛情に気付けるように働きかけ、家族を大切にしようとする思いや感謝の気持ちを育んでいく。「○○って書きたい」「どうしたらいいの」という言葉を受け止めて気持ちの表現を手助けし、満足感に繋げる。
- **活：**シャワーを浴びる時の約束事や準備、着替えの仕方が分かり、汗を流すことに気持ち良さを感じる。（健康）
環：着脱の仕方、衣服の管理、シャワーを浴びる前と浴びた後の過ごし方等を子ども達と確認しながら、流れや約束事を理解出来るようにする。「気持ちいいね」と汗を流すことに心地よさを感じられるよう関わる。

- **活：**雨の日の過ごし方や雨具の特徴・使い方を考え、安全に過ごそうとする。（健康・環境）
環：傘やレインコートの役割や扱い方、危険性等を子ども達と考えて安全に使う意識に繋げていく。傘の開閉を保育者と一緒に行い、危険がないようにする。
- **活：**園生活においてのルールが分かり、守って行動しようとする。（健康・人間関係）
環：園のルールが分かっているにもかかわらず、気持ちが高まったり保育者の見守りがいない時には意識が低下するため、ルールがある理由や守るためにはどうしたら良いかを考える時間を設けていく。
- **活：**当番活動を通して、自分が出来ることを率先してやろうとしたり、自分の役割に責任を持つ気持ちが育つ。（人間関係）
環：「○○してくれてありがとう」「お友達と力を合わせて出来たね」と言葉かけしながら喜びや達成感、協力する力に繋げていく。人の役に立つ喜びや達成感を積み重ねていき、主体的に取り組めるようにしていく。

教育（遊び）

- **活：**相手の話に興味を持ち、話を聞こうとする。（言葉）
環：子どもが言葉で気持ちを表現できた際にはたくさん褒め、言葉で伝える楽しさが味わえるようにしていく。また、きちんと表現できなくても言葉にしようとする姿を認め、表現しようとする意欲が落ちないように援助していく。
- **活：**自分の気持ちを言葉で伝え、考えを受け入れてもらう楽しさを味わう。（言葉・人間関係）
環：言葉がなかなか出てこない場合は、落ち着いた環境にて質問を投げかけるなど、子どもが自分の話したいことや考えを整理できるように援助をする。
- **活：**自分なりに工夫しながらイメージを実現し、そのものらしく作って遊ぶ。（表現）
環：廃材などを使って、イメージしたものや作りたいものを具体的に作り上げていく楽しさが味わえるように援助を行う。その際にはアイディアを出しすぎたりしないよう注意し、子ども自身が想像力を膨らませることができるようにする。
- **活：**様々な友達と関わって遊び、新しい友達とも一緒に遊ぶ楽しさを味わう。（人間関係）
環：集団遊びを日々設定し、色んな人と関わる楽しさや協力する充実感を味わえるようにする。
- **活：**ルールを守りながら友達と遊びを楽しむ。（健康・人間関係）
環：ルールのある遊びでは、始めにルールをみんなで確認することに加え、遊んでいく中でも繰り返し伝えることで、全員が共通したルールを理解できるように配慮する。
- **活：**ダイナミックに身体を動かして全身で遊ぶ。（健康）
環：室内でも十分全身運動ができるよう、縄跳び、大縄、マット、跳び箱などを取り入れる。子ども同士の距離など、安全に気を付けて設定する。
- **活：**雨の日に散歩し、この時期ならではの自然を体験する。（環境）
環：定期的に雨の日に散歩をし、子ども達で見つけたカエルやカタツムリが飼育できるように準備をする。その他虹や雷など、子ども達が興味を持った自然現象が科学的に分かるよう、図鑑を備え一緒に考えていく。
- **活：**遊ぶ道具や共有のおもちゃについて、片付ける場所や準備を話し合って決める。（人間関係・環境）
環：ある程度子どもたちの話し合いを見守る。意見が出ない場合や会議が成立しない場合は、保育者が司会の役割をして子どもたちの思いを引き出していく。
- **活：**梅雨を通して雲の動きや雨上がりの様子などに興味を持つ。（環境）
環：梅雨の自然に興味を持てるよう、分かりやすい絵本やパネルシアターなどを準備する。また、空に関する図鑑などを準備しておくことで、雨だけでなく雲の様子などにも興味を持てるように環境作りを行う。
- **活：**夏野菜を育て、植物の成長や変化に気づく。（環境）
環：成長していく野菜の変化などの子どもたちの気づきを認めたり、「収穫したら何にして食べたい？」など期待できるような関わりを行う。

- **活**：お世話をした生き物が成長したり、野菜が生長する喜びを味わう。（環境）
環：「毎日お世話をしてくれたから大きくなってきたね」「好きな食べ物を調べてくれてありがとう」と言葉かけしながら喜びに繋げ、お世話を通して命の大切さを感じたり思いやりの気持ちを育めるようにする。
- **活**：道具や素材を使って試したり工夫したりすることを楽しむ。（環境・表現）
環：様々な道具や素材をいつでも使えるよう用意しておくことで「～だからこうしよう」という考えをすぐに実践できるようにする。成功や失敗の経験を積み重ねられるよう見守る。
- **活**：少し高い目標に向かって繰り返し挑戦しようとする。（人間関係）
環：自分で目標を持って遊ぶ姿を見守り、助言をしたり、何度も挑戦する過程を大いに認めていく。又、保育者が出来そうで出来ない目標を示すことで、意欲や達成感を感じられるよう関わっていく。
- **活**：歌や踊りで表現する楽しさを味わい、友達と楽しさを共有する。（人間関係・表現）
環：ネットやテレビで耳にする歌を口ずさんだり踊ったりする様子を受け止めて、園でも興味がある歌や音楽を取り入れながら表現する楽しさを味わえるようにする。
- **活**：好きな遊びを継続して楽しみ、満足感や達成感を味わう。（健康・環境・表現）
環：「もっとやりたい」「片付けたくない」という言葉を受け止め、保管するスペースを作って継続して遊べる環境を作る。玩具を独占してしまうことも予想されるため、約束事を一緒に考えていくようにする。
- **活**：数字や文字を使って遊ぶ楽しさを感じる。（環境）
環：平仮名や数字の表を掲示しておいたり、トランプ遊びや手紙ごっこ等を取り入れていく。「書きたい」という気持ちを受け止めて、点線を書いてなぞれるようにしたり、手を添えて一緒に書いたりする。
- **活**：自分ができることを発揮し合いながら、認め合う嬉しさを経験する。（人間関係）
環：日々の遊びの中で発表したり、見せ合ったりする時間を設ける。「こんなところが凄いね」と保育者が認める姿を示していくことで、友達の良いところを見つけようとする気持ちや認められる喜びに繋げていく。
- **活**：疑問が解決したり、新しいことを知る喜びを感じる。（環境）
環：好奇心や探究心を受け止め、調べられる環境を整えておく。自分で調べる過程を大切にしながら見守り、喜びに共感していく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 梅雨に入り、再び肌寒い日が増えてくる時期。気候に合った服装をしているかなど注意して様子を見ていく。
- 暑い日には水分をきちんととれているか気かけ、あまり水分をとらない子には個別に声掛けを行なっていく。
- 雨具を使用する時は約束事について考える時間を設け、安全に使用出来るようにする。
- 雨上がりの固定遊具や園庭のぬかるみ等に留意し安全確認を十分に行う。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- びっくり小物入れ／ポップアップカード／ミニフォトフレーム

歌

- せかいじゅうのこどもたちが／おおきなふるとけい／あめのゆうえんち

絵本

- ふたりはともだち（おてがみ）／おじさんのかさ／むしばミュータンスのぼうけん

手遊び

- たなばたさま／すいかのめいさんち／きつねがね、ばけたとさ

室内室外遊び

- じゃんけんバスケット／オセロめくり／ふうせんうちわバレー

行事

- 保育参観（親子ふれあいデー）
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 入梅（6月）
- 虫歯予防デー（6月4日）
- 歯と口の健康週間（6月4日～10日）
- 時の記念日（6月10日）
- 夏至（6月中旬）
- 父の日（6月第3日曜）

食育

- 様々な食べ物が出てくる絵本や紙芝居を用意し、どんな食べ物がどのように身体を作っているのかに興味関心を持つ。
- 食べこぼしに気をつけたり、お箸を正しく使ってみたりしようとする。
- 食べる時の姿勢にも気をつけながら、友達と楽しく食事を進める。
- 歯の健康に興味を持ち、咀嚼を意識しながら食事をする。
- 時間を意識しながら食べようとする。
- 食育活動を通して旬の野菜に興味を持つ。

異年齢保育

- 友だちと思いがすれ違うときは、双方に寄り添い、丁寧に言葉を補いながら橋渡しをする。
- 集団ゲームで友だちに遊び方を伝える様子を見守り、必要に応じて言葉を添えて仲立ちする。
- 泥・水遊びをダイナミックに楽しむ姿を見守りつつ、周囲の安全への気づきを促す声かけを行う。
- 乳児の世話をしたい気持ちを大いに認め、安全に心地よく関わられるよう援助する。
- 夏の行事への期待に寄り添い、園全体で楽しめる視点を伝えながら、一緒に企画を考える。

職員間の連携

- 子ども一人ひとりの様子や交友関係の変化を伝え合い、理解を深めながら関わる。
- 子どもの興味やアイデアを活動に生かせるよう、担任間で話し合い、環境を整える。
- 泥・水遊びの着替えを男女別に行えるよう、準備の流れや室内環境について話し合う。
- 家庭とのコミュニケーションを密に取り、相談や意見を園全体で共有し、適切に対応する。
- 個別の配慮が必要な子や発達が気になる子の様子を共有し、個々に合った対応を検討する。

地域と家庭との連携

- 梅雨に入り、気温差が再び出てくる時期。体温調節しやすい服装を呼びかけ、子どもが自分で着脱しやすいものを準備してもらうようお願いする。また、子どもと一緒に準備することで、自己管理の意識が持てるようにしてもらう。
- 虫歯予防デーにちなみ、改めて家庭でも歯磨きの仕方を確認してもらえるようお願いする。
- 梅雨期の過ごし方を伝え、雨具の準備やシャワーを浴びる時に必要な物を用意してもらう。
- 期間にゆとりをもって保育参観の詳細を伝える。参加できない保護者と子どものフォローをする。

長時間保育の配慮

- パズルやブロックで遊ぶ子が集中できるよう、必要に応じて遊びのスペースを分ける。
- 泥・水遊びの汚れ物で荷物が増えるため、子どもと一緒に整理整頓を行い、忘れ物を防ぐ。
- 戸外あそびやホールでの活動を取り入れ、体を動かして発散できるよう配慮する。
- 疲れからトラブルに発展しやすいため、思いを丁寧に受け止め、心地よく遊べるように仲立ちする。
- 日中の活動について子どもに尋ね、思いを受け止めながら、ゆったりとやり取りを楽しむ。

自己評価

- 新しい友達とも関わりながら一緒に遊ぶことを楽しめていたか。
- ルールのある遊びでは全員でルールを理解しながら、楽しく遊ぶことができていたか。
- 当番活動では、自ら率先して行ったり友達と声を掛けあったりする姿が見られたか。
- 身の回りのものを大切に扱おうとする姿は見られたか。
- 自分の気持ちを言葉で表現し、受け止めてもらう充実感や嬉しさを感じることができていたか。
- 粘土遊びや廃材工作などを通して、イメージしたものを実際に作って遊ぶことを楽しめたか。
- 相手の話を聞こうとできていたか。
- 虫歯予防デーを通して歯を大切にしようとする気持ちが持てていたか。
- 梅雨期の室内環境や健康状態に留意し、健康に過ごせるようにしたか。
- 子どもが梅雨期の過ごし方を身に付けられるよう関わったか。
- 言葉の使い方を意識出来るよう働きかけたか。
- 様々な行事に対する興味関心を高められたか。
- 梅雨期でも体を動かせるような活動内容を取り入れられたか。
- 子どもの挑戦意欲や興味に寄り添った関わりを持てたか。
- 梅雨ならではの自然を見たり触れたりする中で自然に対する関心を深められたか。
- 保育参観では親子の触れ合いや親子同士の交流を図れたか。参加出来ない家庭のフォローを丁寧に行ったか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

